

公益財団法人 上伊那教育会 第2回 総会

期日：令和3年6月17日（木） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌「仰望」
- 3 会長挨拶
- 4 信濃教育会挨拶
- 5 信濃教育会常任委員会報告
- 6 議事
 - (1) 第1号議案「令和2年度上伊那教育会事業報告の承認」に関する件
 - (2) 第2号議案「令和2年度上伊那教育会決算報告の承認」に関する件
 - (3) 第3号議案「いなっせ再開発ビル改修にともなう『特定費用準備資金』の積立」に関する件
- 7 諸連絡
- 8 協議
上伊那教育会諸事業について意見交換
- 9 閉会の言葉



感染予防のため、総会への出席者を各中学校区1名に限定。各校へはオンライン配信をし、オブザーバーとしての参加形式で開催しました。

原文章会長 挨拶

去る5月19日の上伊那教育会総研修会は、初めてオンラインで開催いたしました。開催にあたり、代議員の皆様はじめ多くの会員の皆様にご尽力いただき、無事開催することができましたことを心から感謝申し上げます。総研修会では、お二人の会員による発表や国立天文台副台長の渡部潤一さんの講演等、大変示唆に富むお話をお聞きすることができました。

さて、去年は実施できなかった県外教育関係機関研修ですが、今年はコロナのこともあり、県内の先進的な取組をしている学校への視察研修としました。すでにご案内の通り、7月12日（月）に大町市立大町北小学校と大町市立第一中学校に参ります。現在定員20名のところ、17名の応募がきております。郡外他校の実践に学ぶとともに、上伊那の教育の良さも見出していきたいと思っております。

また、職能研修事業の中の三大研修「哲学研修、文学研修、授業研修」も充実した活動が始まっています。どの研修も若い・中堅・ベテラン関係なく、求める心を持って積極的に参加してくださっています。まだ続くコロナ下ではありますが、感染防止対策をとりつつ、「つながらり、学び合い、自分を磨く」研修を続けていきたいと思っております。 (要旨)

信濃教育会挨拶

信濃教育会常務理事 熊谷邦千加様が、オンライン配信で
ご挨拶されました。



議 事

(1) 第1号議案「令和2年度上伊那教育会事業報告の承認」に関する件

(2) 第2号議案「令和2年度上伊那教育会決算報告の承認」に関する件

第1号議案は浦山哲雄副会長が提案、第2号議案は飯澤隆専務理事が提案し、一括審議を行いました。竹村勝監事の監事報告後に、質問・意見を受け、採決を行いました。

第1号議案、第2号議案それぞれの議案について採決をした結果、賛成多数で承認されました。

(3) 第3号議案「いなっせ再開発ビル改修にともなう『特定費用準備資金』の積立」に関する件

第3号議案の議案について採決をした結果、賛成多数で承認されました。

諸事業についての意見

【平澤篤典会員（中川中）】

私は、哲学研修委員会に所属しています。昨年度は委員長を仰せつかったものの、8月までの教育会事業が中止となり、読み合わせも夏期講習会も実施できずじまいでした。

本年度も、第1回の読み合わせの直前に、感染警戒レベルが5となったことを受け急遽中止となりましたが、先週11日に今年度初めての読み合わせを実施することができました。

まだまだ先が見通せない状況が続くと思います。しかし、感染対策をしっかりと講じつつ、上伊那教育会が長きにわたって大切にしてきた「哲学研修」を、今年度はなんとか進めていきながら、特に今年度初めて参加している会員にこの研修の良さを感じてもらえるようにしていきたいと思います。



【鬼頭つかさ会員（高遠中）】

教育会の各委員会について意見を述べさせていただきます。私は今年度、郡習字展委員を委嘱されました。これまでも子供たちの作品を出品することはありましたが、その運営に携わるのは初めてです。

郡習字展には各学校から毎年選りすぐりの作品が出品されています。学校での書写の時間は、慌ただしい日常をちょっと離れて自分の字と向き合う、静謐ですがすがしいひとときです。近年は、各校で地域の高校生や書家を招いて教えていただく取り組みも多いと聞きます。そうしてできた作品を多くの方に見ていただける機会があることは、大変ありがたいことです。優秀作品にいただける賞も励みとなっているようです。

昨年度まで国語委員会と書写書道研究会が協力して行ってきたこの事業を、今年度は新たに郡習字展委員会を立ち上げて引き継ぐ形となりました。これまで以上に、活動が焦点化され、明確な活動として推進していけないかと思えます。

委員の一人として微力ながら尽力していきたいと思えます。

浦山哲雄副会長 閉会の言葉

令和2年度の事業報告ならびに決算報告につきまして、ご審議の上ご承認いただきありがとうございました。公益社団法人として行政庁への提出を進めてまいります。

先日、哲学研修の読み合わせ会に参加させていただきました。講師の唐澤正吉先生からは「わからなくていい。自分をさらけ出すこと。空にすれば入ってくるものがある」というご指導をいただきました。グループ討議では、お若い先生から中堅、ベテランの先生までが、『善の研究』の叙述に触れながら、自分の経験をもとに熱く語っていました。今年のキャッチフレーズにある「つながり、学び合い、自分を磨く」姿が、そこにはありました。

コロナの警戒レベルが、レベル5の際は、中止、延期を余儀なくされた会もありますが、レベル3になり、再び動き出しました。文学研修・授業研修も始まり、7月に入りますと新入会員歓迎研修会、県内教育関係機関研修等、上伊那教育会の事業も本格的に実施となります。教育会事業に積極的に参加できますよう、代議員の皆様には声掛けを是非お願いいたします。共に学び合いましょう。

(要旨)

